

平成17年度第2回

熊毛地区地域審議会 会議録

日時 平成17年9月2日

場所 周南市 熊毛総合支所

東庁舎2階会議室

平成17年度 第2回 熊毛地区地域審議会 会議録

1. 開催日時 平成17年9月2日(金)
(開会) 13時35分
(閉会) 15時30分
2. 開催場所 周南市熊毛総合支所 東庁舎2階会議室
3. 出席委員
(1) 田 崎 義 雄
(2) 西 田 加代子
(3) 竹 村 正 美
(4) 徳 毛 裕 之
(5) 塩 見 修 二
(6) 角 田 美彌子
(7) 大 山 超
(8) 徳 本 豊
(9) 村 川 哲 夫
(10) 増 原 靖 子
(11) 河 内 齊
(12) 河 口 俊 彦
4. 欠席委員
(1) 中 川 研 一
(2) 山 下 和 恵
5. 出席職員
熊毛総合支所次長 石 光 秀 雄
地域政策課課長補佐 柳 昭 行
同 担当 中 村 悟
同 担当 大 谷 芳 秀
6. 会議次第 別紙のとおり
7. 会議経過 別紙のとおり

8. 会議次第

(1) 開会

(2) 会長あいさつ

(3) 議事

①熊毛地区における町づくりの課題について

②第2期の熊毛地区地域審議会について

③その他

(4) 閉会

9. 会議経過

(1) 開会

(2) 配布資料の確認

(3) 熊毛総合支所次長あいさつ

(4) 会長あいさつ

(5) 会議

(6) その他

(7) 閉会

10. 会議の内容

会 長： 残暑きわめて厳しい今日ではありますが、第2回目の地域審議会にご出席をいただきまして心からお礼を申し上げます。早いもので私たち委員の2年間の任期が今月末で満了するわけでありまして。

この2年間、委員の皆様方には大変熱心に協議をしていただきました。周南市まちづくり総合基本構想案につきましては、意見集約をしたものを7月末に答申したわけでありまして、寝食を忘れ協議検討をいただきました。その後いろいろな機関で協議検討し、12月議会で正式に承認された経緯がございます。

もう一点、熊毛地区地域審議会としてはコアプラザの早期建設・道路整備・農業振興の3点に絞って意見書を具申しましたが、それに対する回答はとても残念なものでした。承服しがたい内容でしたので、総合政策部長、熊毛総合支所長、次長と2時間あまりにわたって協議をいたしました。コアプラザ熊毛の整備事業について「検討する」ということではありましたが、「そういうことなら、平成17年度に調査費をつけてほしい」といったお願いをしましたが、「難しい」旨の回答をいただきました。道路整備・農業振興についてもお願いはしましたが、いずれにしても問題は、行政マンとしての行政手腕をいかにして発揮するかということであり、やる気さえあれば、このような回答書にならないと思います。市長にも「打てば響くとおっしゃられているが、響きが無いように感じます。打ってないから響かないのか、打ちようが小さいから響いてこないのか、心配しています」とお伝えしました。

熊毛地区のまちづくりの振興は空振り三振で、私は大変責任を感じております。この試合で空振り三振でも、次の第2ラウンド＝10月以降の2期目の地域審議会におきまして、私たちが2年間培ってきたことを新しい審議会にバトンタッチし、ぜひそこで一つヒットが出るようにしていただきたい、そして毎年毎年建議を継続していただきたいと思います。

委員の皆様には事前に意見を提出いただいておりますが、本日はこれらを集約し新しい審議会に引き継いでいただきたいと思います。

事務局： （熊毛地区の町づくりの課題（各委員さんのご意見、別紙）について説明）

会 長： コアプラザ熊毛整備事業について実施計画の事業内容では17～18年度は「検討」、19年度に「基本設計」とありますが、「検討」ということであれば、調査費をつけてほしい旨のお願いをしましたが、「難しい」とのことでした。この件につきましては機会があるごとに建議をしていきたいと思います。

委 員： 審議会で答申しただけでは、具体的に実施されないような気がしてい

ます。新しい審議会は審議するだけでなく、積極的に取り組み、実現に向けて努力していただきたいと思います。

委員： 2年間それぞれの立場の方が集まって真剣に協議し答申をしましたが、あまりに響かなかったことが非常に残念です。総合支所長の権限が無いことが大きな問題であると思います。周南市は本庁中心主義になっているので、地域から意見を出しても聞いてもらえない状態になっています。対等合併であるなら、総予算を地区に割り当て、地区の権限によってその地区市民のニーズに答える型が望ましいと思います。市民から出た意見を吸収するのが行政の役割だと思います。

委員： 「合併して何が良かったのか？悪かったのではないか？」という話をよく聞きます。もう一度そのあたりから検証してみる必要があると思います。合併して良かった点、合併しなかったらこんなに大変だったというPRをしないと市民にフラストレーションがたまります。またコアプラザをつくると言って一体いつまで待たせるのでしょうか？そのほかには、合併特例債の使用状況を示してほしいと思います。

会長： 合併して何が良かったか？全く見えません。PR・広報が上手でないと思います。「財政が厳しい。合併しなければこのような時代になっていました」と広報等で逐一知らせてほしいです。

委員： コアプラザ熊毛を含め、熊毛は良い方向に向かっていると思います。皆が1つになってやろうという意欲が消えていくのが目に見えてきますので、次回の審議会でも実現できるよう頑張ってください。

委員： 熊毛地区において水事情の問題が最も重要課題であると考えます。上下水道の整備こそは、当地域における人口増加・快適な生活環境に必要不可欠であると思います。しかし地域によっては難しい事情もあり、合併浄化槽がありますが、合併浄化槽の衛生問題について皆が安心して備えることが出来るようなPRが必要と考えます。

委員： 熊毛地区関係の新市建設計画あるいは地域振興に関する建議についてダイジェスト版にまとめて、具体的な計画、実施状況、予算等がわかるようにして、皆さんが関心を持てるようにしていくことが重要と思います。

委員： 市政の健全化に多くの知恵を望みたいと思います。身近な問題で、近くの公民館の職員が合併前は1人でしたが、合併後3人になっていました。必要でそうなったのかもしれませんが、予算等の検討をきちんとしてほしいと思います。また合併して悪いことばかりではないと思います。熊毛町が周南市となり若い人は明るくなった。やる気が出てきたと思います。

委員： 2年間審議会に出していただきましたが、建議をしても実現する見込みがない。この間の大雨の災害でも修繕費がない。支所も人がいない。

熊毛は本当に寂しい気がします。この地域審議会だけでも、1回目は全体会にしてその後分科会にするなど検討いただければ、周南市の一員になったように思います。議会棟が必要ないのであれば、コアプラザの役割を果たすような場所として少しでも活用していけば、という考えを持っております。

会長： 地域審議会は形骸化している様に思います。そもそも地域審議会の役割は、合併で地域参画が危惧されることから、その払拭のために、審議会を各地域に立ち上げ調整を期待するという事でありました。これからも継続して積極的に建議をし、一日も早く成果が出るように取り組んで行きたいと思っております。

委員： 勝間駅から南方の河川・道路についてですが、台風や大雨などの災害時、勝間中村川の水が氾濫し、道路は崩れ作物がだめになり被害が大きいのので川幅を広げる、道路を高くするなどの対応が出来ないものではないでしょうか？

委員： 地域審議会の意見がどのように取り扱われているか、はっきりしないと思っております。熊毛地域がどのような町にしたいのか2年間かけて申し上げてきましたが、骨太に書き上げておくべきだったと思っております。地域審議会がこれまで出した意見、これから出そうとする意見について「私たちは以下の項目について、ぜひとも実現をお願いしたい」と市当局に提案していき、提案したことについては熊毛地域の方々にお知らせし、その中のどれが実現されたかを公にしながら、審議会として以下の所見について審議をし、結論として建議をし、そしてどのように実現されたかを地域の住民とともに見守っていく、ということが大切だと思います。

私の気持ちの中には、「住むのだったら熊毛に住みたい」と言った熊毛地域の美しい景観を確保し、農業の後継者問題を含めた農業問題に手を打っていただきたい。

会長： 周南市まちづくり総合計画は市長から諮問をうけ、答申した責任があります。従ってこの総合計画がどのように運用されるか監視していく責任があります。時々、中身について建議をしていくことも大事であると考えます。何かご意見はございませんか？

委員： 総合計画以外の予備費について説明してください。

事務局： (予備費について説明)

会長： 外になにかございませんか？

委員： 予算が無いのはわかりますが、公民館のような地域の交流の場では、市民にもっと利用いただけるよう、施設の整備をする必要があると思っております。

委員： 高水公民館を利用しますが施設が老朽化しています。最低限やるべきことは何かを考えそれを実行してほしいと思っております。

事務局：（委員さんから出された意見の概要を説明及び第2期の地域審議会への意見の引継ぎを提案）

委員：異議なし

事務局：（地域審議会の趣旨及び第2期の熊毛地区地域審議会について説明）

会長：第1期の地域審議会の委員の皆さんには、精力的に熱心にご活動いただきました。出来れば2期もお願いしたいところではありますが、委員の任期は2期を超える事が出来ないことから、全員が残りますと、3期目は総入れ替えすることになります。全員が新人の審議会となりますと機能が頓挫する可能性を秘めております。2期目はこのメンバーの半分、3期目は残りの半分の方の改選が望ましいと考えておりますが、任命権者の判断によりますので、どのようになるのかはわかりません。私の私見でございますので、皆様方のご意見をお聞かせいただきたいと思います。

事務局：（第2期の熊毛地区地域審議会について補足説明）

委員：合併するということは痛みを伴うことです。それはわかっていますが、地域には地域の個性があります。その個性を破壊されては困ります。今の周南市は地域の個性を守ろうという雰囲気ではなく、本庁中心主義になっています。

会長：総合支所長に権限が無いことが問題だと思います。

委員：熊毛地域で出した意見がどのように扱われているかが重要です。熊毛地域のエゴではなく「熊毛地域はこのようなことをしたい」と具体的に書き上げ、第2期の審議会に引き継ぐべきだと思います。

会長：地域審議会は形骸化していると思います。地域審議会の意見は取り入れて頂けないが、市議会の意見なら簡単に通る、といったことでは地域審議会の意味はありません。熊毛地区地域審議会で成果が出るよう執念深く建議していきたいと考えます。

委員：合併特例債について説明してください。

事務局：（合併特例債について説明）

会長：熊毛地域は福祉関係が遅れていますので、早急にコアプラザ熊毛について取り組んでいただきたいことを提案します。

以上で閉会とさせていただきます。2年間精一杯ご活躍いただきましたことに対しまして心からお礼を申し上げます。大変ありがとうございました。

上記は会議の経過の要点を記載したもので相違ない。

平成17年10月 日

熊毛地区地域審議会 会長